



表紙/木曽義仲旗竿まつり (8月14日撮影)

広報きそまちと
役場だよりが
ひとつになりました
役場だよりは9～12Pです

取り外して
保存できます

- 2～3P 地震への備えは万全ですか？
- 4P 木曽町成人式を開催しました
- 18P 第52回 木曽音楽祭が開催されました
- 19P 姉妹都市と児童・生徒交流を行いました



木曽町
公式LINEは
こちら



インターネットからも
広報きそまちを
閲覧できます

突然やってくる災害から身を守る

地震への備えは万全ですか？



近年、様々な自然災害が多発しています

「天災は忘れたころにやってくる」という言葉を耳にしたことはありませんか？しかし、最近には様々な自然災害が忘れないうちにやってきます。先日7月28日には、最大震度7を観測した熊本地震が発生しました。また、昨年は青森県東方沖を震源とする最大震度6の地震、一昨年は最大震度7を記録した能登半島地震と、毎年大きな地震が起きています。

木曽町でも、平成29年6月に、長野県南部を震源とする最大震度5強の地震が発生しました。今回はいつやってくるかわからない地震について考えます。

✓ 地震が発生「緊急地震速報の発表」

緊急地震速報は、震度5弱以上の地震が想定されるときに、テレビやラジオ、エリアメール、防災無線を使って発表される情報です。なお、震源が近い場合には数秒後に揺れを感じる場合や揺れ始めてから発表される場合がありますので注意しましょう。

✓ 大きな揺れを感じたら

揺れが収まるまでは、自身の安全が最優先です。被災した場所によって対応が変わりますのでそれぞれの対応を確認しましょう。

● 自宅で地震があった場合

① 身の安全の確保

揺れが収まるまで頭を保護しましょう。



② 火は止めない

コンロの火は自動で止まります。

揺れているとき
火を止める行動
は危険！



③ 避難経路の確保

扉を開けて
いつでも外
に出られる
ように。



④ 自宅の状況確認

自宅の
損壊状況を
確認しま
しょう。



⑤ 周辺の状況確認

周辺で火災など
起きていないか
確認しましょう。



⑥ 避難の必要性を判断

安全であれば自宅に留まりましょう。



● 自宅外で地震があった場合

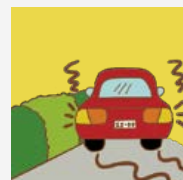
ブロック塀の近
くから出来るだ
け遠くに離れま
しょう。



がけの近くか
ら出来るだけ
遠くに離れま
しょう。



車内で揺れを感じ
た場合は落石がな
い場所など安全な
スペースで停車し
ましょう。



〈参考〉木曽町防災ハンドブック 5P 地震発生直後に取りべき対応

☑ 「通電火災」にご注意を！

「通電火災」とは、地震、台風などの自然災害の影響により、停電から電気が復旧することによって発生する火災のことをいいます。



通電火災を防ぐ3つのポイント

- ① 自宅から避難するときは必ずブレーカーを落とす
- ② 再通電させる前に家の周囲や室内を確認し、断線や損傷がないか確認する
- ③ ストーブやアイロンなどの電気器具の電源が入っていないか確認する



☑ 屋内の安全対策を見直しましょう「室内の安全対策」

タンスや食器棚などの大型家具、テレビや冷蔵庫などの大型家電は地震が発生すると倒れたり飛び出したりして非常に危険です。この場合、市販の固定器具やベルトなどで簡単に対策ができます。各家庭の状況に合わせて器具を選びましょう。



☑ どうする？ 被災したときの「熱中症対策」

近年、毎年国内での最高気温が更新される中、消防庁によると、2026年8月10日～16日のたった1週間の内に全国で3,132人が熱中症で救急搬送されています。もしそんな暑い夏の内に地震が起きて電気などのライフラインが止まってしまったとき、あなたはどのようにしますか？

もしクーラーや扇風機が使用できたとしても、熱中症は起こる可能性があります。暑さを我慢せず、早めの対策を心がけましょう。



■ 熱中症の症状

【軽度】めまい・立ちくらみ、頭痛、吐き気、だるさ、筋肉のけいれん など

【重度】返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い、自力で水が飲めない など

■ 熱中症を防ぐには

- ☐ 水分を補給する ⇒ 「喉が渴いたから」ではなく、こまめにとることが必要です
- ☐ 塩分を補給する ⇒ 汗をかいたときは“ほどよく”塩分を補給することが必要です
- ☐ 体を涼しく保つ ⇒ うちわや冷却タオル、ネッククーラーなどを使うと効果的です
- ☐ 日差しをよける ⇒ 帽子や日傘、通気性の良い長袖などを着用し、直射日光を避けましょう
- ☐ 温度や湿度に気をつける ⇒ 温度計などを見ながら、熱中症の危険性がないか確認しましょう
- ☐ 家族や周囲の人の体調を気にかける ⇒ お互いの体調に気を配ることが予防につながります



令和8年度 木曽町成人式を開催しました

8月13日、木曽町文化交流センターにおいて「令和8年度 木曽町成人式」が挙行されました。町では、満20歳の方を対象に成人式を行っています。今年度は平成17年度に生まれた方が対象で、対象者109名のうち76名の皆さんにご出席いただきました。

式典の前には、木曽福島出身で現在信濃毎日新聞の記者を勤める上沼可南波さんによる講演会も行われました。



新成人代表挨拶

(左から)

鈴木 康介さん（福島）

長谷川叶太さん（日義）

山田 梨心さん（開田）



木曽福島地区



日義地区



開田地区



三岳地区

〓 相撲競技会開催まであと748日! (9月15日時点) 〓

信州やまなみ国スポ

～過去に学び 今を創り 未来へ繋ぐ～

令和10年10月に開催される「信州やまなみ国スポ相撲競技会」について、大会・準備状況・木曽町の相撲などを連載でお伝えします。



信州やまなみ国スポ
相撲競技会
準備状況
木曽町の相撲

第4回 木曽町と相撲の関わり その② 中部日本選抜中学生相撲大会

中部日本選抜中学生相撲大会

8月2日、「第48回 中部日本選抜中学生相撲大会」が1都10県より25団体、選手・監督94名が参加し木曽町相撲場で開催され、中学生の熱戦が繰り広げられました。実は、この大会の開催と継続が現在の木曽町相撲場の存続に大きな役割を果たしました。

「昭和53年 やまびこ国体相撲競技会」の開催にあたり、木曽福島町は常設の相撲場を建設しましたが、国体成功後、相撲場の活用方法が課題となりました。当時長野県・木曽相撲連盟の役員であった植原延夫氏は、国体誘致の目標の1つが「地域にスポーツの根を張ろう」であったこともあり、選手の育成と施設の維持のため、中学生の大会の開催に向け動き出しました。そして、植原氏は相撲場の活用方法を関係者と模索し、町議会議員も務めていたことから12月の定例議会において一般質問で国体会場の今後の使用方法を問い、「施設をそのまま相撲場として生かしていく」という唐沢町長の答弁を引き出しました。

翌年2月、中日新聞社本社にて、北信越・東海・長野県・木曽の各相撲連盟、木曽福島町、中日新聞社の各代表が集まり、中日新聞社と木曽福島町が中心となり、各負担金も決め「第1回 中部日本選抜中学生相撲大会」として木曽福島町で開催することが決まりました。そして、やまびこ国体を開催した翌年の昭和54年8月5日に、東海・北信越地区から選抜された代表校が参加し、地方としては規模の大きな大会として開催されました。なお、この時、北信越相撲連盟理事長を務めていた新東武夫氏から「2回や3回でやめるなら、今からやめたほうがいい」と厳しいお言葉をいただいたことが現在につながっており、その結果数多くの選手が育ち、町の振興にも寄与する大会となっていました。



今年の大会の様子

リハーサル大会「第65回 全国教職員相撲選手権大会」が開催決定！

国スポ相撲競技会のリハーサル大会として、第65回 全国教職員相撲選手権大会が開催されることが決定しました。

開催期日 令和9年8月11日(水・祝日) 山の日

開催場所 木曽町相撲場

大会規模 全国都道府県より約20チームが出場
選手・監督・役員など 出席者数 約150名



今年は8月23日に宮崎県で開催
三岳出身の高木二千翔さんが出場しました(右)

10月号でのお知らせ予定

● 青森国スポ相撲競技会報告

【お問い合わせ先】 国スポ準備室(生涯学習課内) ☎23-2070



ウォーターニュースきそまち

No. 09

ご家庭の「水道使用量」を知っていますか？ ～検針票のチェックと節水効果～

皆さんにとって身近な水道。蛇口をひねれば当たり前前に使える水道について、料金・給水施設・運営等、シリーズでわかりやすく解説します。

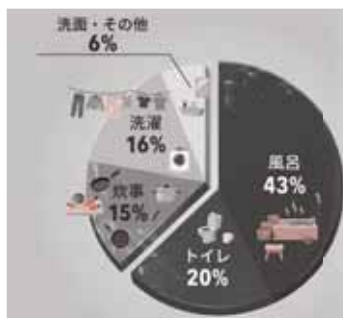
① 1人あたりの平均的な水道使用量は「約 8m³ / 月（2ヶ月で約 16m³）」

一般的な家庭において、1人あたりの平均的な水道使用量は1ヶ月あたり「約 7～8 m³（7,000リットル）」（2ヶ月ごとの検針では約 16m³）とされています。ご家庭の世帯人数に合わせて、検針票を見てみましょう。

💡 検針票を見る時のポイント

- 検針票に記載されている「水道使用量（前回検針の指針と今回指針の差）」を確認し、【世帯人数×16m³】を大幅に超えていないかチェックしてみましょう。
- 指針に基づき、水道料金の金額が記載されます。（2ヶ月に一度の検針のご家庭は来月の請求額も知ることができます）

「急に使用水量が増えた」「平均より水量がとて多い」という場合は漏水の可能性があります！
漏水が無くても、日頃の生活で節水を心がけるきっかけになります。水の使い方について、ぜひご家族で話してみましょう。



水道量の内訳 (一般的な家庭の場合)

お風呂とトイレが半分以上と大きな割合を占めています。
お風呂は湯船を貯めるか、シャワーで済ますかによっても、使用量に大きな差が出てきます。

検針票 (例)

上下水道使用量のお知らせ

このお知らせによる納入はできません。

お客様番号 1234567-001	検針曜日 月曜日
メーター番号 08-123456	口数 13
一般	
木曽町	

様

今回指針 7 m ³	1計日 8月 4日
前回指針 5 m ³	前計日
水道使用量 2 m ³	

令和 8年 8月ご請求分 (6月ご使用分)	
水道使用量 1 m ³ 水道料金 1,980 円	
下水道汚水料金 下水道使用料 円	
合計額 1,980 円	

令和 8年 9月ご請求分 (7月ご使用分)	
水道使用量 1 m ³ 水道料金 1,980 円	
下水道汚水料金 下水道使用料 円	
合計額 1,980 円	

お知らせ：本町では一部地域を除きメーターを個別に設置し、使用量を平均して毎月にご請求いたします。使用量を確認し、設備を点検して漏水を防ぎましょう。
★開始日は電子申請が便利です（詳しくは町HPへ）★

口座振替のお知らせ

令和 8年 6月ご請求分	
水道使用量 1 m ³ 水道料金 1,980 円	
下水道汚水料金 下水道使用料 円	
6月25日以前に納付ください。領収額 1,980 円	

令和 8年 7月ご請求分	
水道使用量 1 m ³ 水道料金 1,980 円	
下水道汚水料金 下水道使用料 円	
7月27日以前に納付ください。領収額 1,980 円	

木曽町役場 環境水道課 納付先：0120-123456



トイレの 器具交換で 大きな節水効果！

家庭内で使われる水のうち、2番目に使用割合が大きいのが実は「トイレ」です。特に、15～20年以上前の古いトイレの場合、器具を新しい節水型に交換するだけで大きな節水・節約効果が得られます。

設置年代・タイプ	1回の洗浄水量（平均）	年間使用量の目安（4人家族の場合）
約20年前のトイレ（1990年代）	約13リットル	約75.9m ³ /年
節水型トイレ	約3.8～4.8リットル	約24.1m ³ /年

★ トイレ交換による年間節水効果 》 年間で約 50m³（約 65%）の水量を削減！
（※バスタブ約 250 杯分に相当する節水量です）



今月のまとめ

- ☑ 検針票が届いたら、前年同期や前回の使用水量と比較してみる
- ☑ シャワーや洗面の水の流しっ放しも少しの意識で節水に
- ☑ 古いトイレは新しくすることで大きな節水効果が！（工事のご相談は木曽町指定業者へご連絡ください）

小型充電電池、小型バッテリーの 受け入れを行っています

小型充電電池 および 小型バッテリーについて、役場窓口での受け入れを行っています。

処分にお困りの充電電池・小型バッテリーがありましたら、木曽町役場本庁環境水道課 または 各支所の窓口までお持ち込みください。

● 受け入れ可能な「小型充電電池」 ※充電電池とは、使い捨てではなく、何度でも充電して使用できる電池のことです。

この
マークと文字が
目印です



Ni-Cd

ニカド電池
(ニッカド電池)



Ni-MH

ニッケル水素電池



Li-ion

リチウムイオン電池

● 受け入れ可能な「小型バッテリー」



モバイルバッテリー



スマートフォン・
携帯電話の電池パック



電子タバコ



ドライバーなどの
電動工具のバッテリー

注意点

- ・大きく膨らんでいるバッテリーは危険です。早めに窓口にお持ち込みください。
- ・家庭用の乾式小型バッテリー類を対象としています。
- ・湿式（液体）バッテリーや大型バッテリーは業務用ですので、販売店に問い合わせるようにしてください。
- ・「小型シール鉛蓄電池：Pb」は、サイズと形状によるので、環境水道課に問い合わせてください。
- ・小型家電などから取り外せないバッテリーは、クリーンセンター（リサイクルストックヤード）に持ち込むようにしてください。（電子タバコはそのまま回収します。）
- ・端子が剥き出しになっているバッテリーは危険です。セロテープ・ビニールテープなどを端子に巻いて絶縁してからお持ち込みください。
- ・資源化できる団体と別に契約している場合は、そちらをご利用ください。

長野県知事選挙 投票結果

大事な投票、忘れずに!



8月9日に「長野県知事選挙」が行われ、即日開票されました。木曽町の投票率は62.27%で、令和4年に行われた長野県知事選挙より1.19%低くなりました。結果は以下のとおりです。

▼ 投票結果

有権者数		
男	女	合計
4,065 人	4,258 人	8,323 人
投票者数	棄権者数	投票率
5,183 人	3,140 人	62.27%

▼ 候補者別得票数 (届出順)

候補者氏名	党派の名称	得票数 (単位:票)
あべ 守一	無所属	4,660
ただ良介	無所属	494
無効票		29
合計		5,183

製品プラスチックの拠点回収がはじまります

木曽郡内におけるリサイクルの取組をより推進するため、10月から製品プラスチックの拠点回収が始まります。現在行われているプラスチックの回収は、お菓子の袋や食品トレイなど、商品を入れたり包んだりするためのもので、かつ「プラマーク」の識別表示があるものを対象としています。

製品プラスチックとは、バケツや洗面器など、商品自体がプラスチックでできているもののことを指します。これらの製品を木曽クリーンセンターに持ち込むことで、無料で受け入れを行う予定です。

具体的な回収品目や開始の時期については、詳細が決まり次第別途案内がありますので、今しばらくお待ちください。今後ともリサイクル品・ごみの正しい分別と出し方にご協力をよろしくお願いいたします。



ハロウィンジャンボ宝くじが9月16日(水)から発売されます

今年のハロウィンジャンボ宝くじは、1等・前後賞合わせて **4億円!**

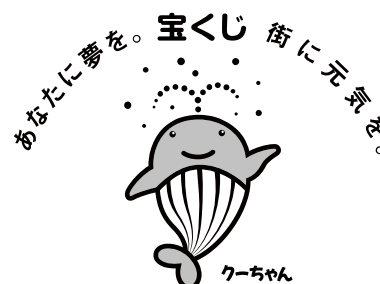
ハロウィンジャンボミニは、1等・前後賞合わせて **4,000万円!**

- ◆ 発売期間 令和8年9月16日(水)~10月16日(金)
- ◆ 抽せん日 令和8年10月26日(月)

ハロウィンジャンボは、長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。また、PCやスマホからもネット購入できます。

※この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

公益財団法人長野県市町村振興協会





役場だより

10月は町県民税3期、
国民健康保険税5期の納付月です。
忘れずお早めにご納付ください。



『肺がんレントゲン検診』の実施について

10月6日から各地区においてバス巡回方式での肺がんレントゲン検診が実施されます。受診する機会がない方は、この機会をご活用ください。特に65歳以上の方は、結核予防のため年1回の受診をお勧めします。ご希望の方は、お申込みください。(日程は次ページをご確認ください。)

◆対象者：40歳以上の町民（令和9年3月31日現在）

※なお40歳以上で下記に該当する方は除きます

- 今年度、職場健診・人間ドックで胸部の検診を受ける方
- 医療機関を定期受診しており胸部の検診を受けた方
- 今年度、肺がんCT検診を受診した方
- 妊娠中の方 ●バス階段の昇降が難しい方
- 車内での着替えなど、身支度が難しい方

◆申込み期限：9月30日(水) 正午まで

◆その他：事前申込みをした方には、すでに個人通知を発送しています。

お問い合わせ・お申し込み先 保健福祉課 ☎：22-4035



9月10日～16日は『自殺予防週間』です

毎年9月10日から16日までを自殺予防週間と位置づけ、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向け、自殺対策を推進しています。(16ページ 保健のひろばでも紹介しています。)

町では、LINE相談窓口を開設しています。1人で悩まず、まずはご相談ください。またパソコンやスマートフォンなどでこころの健康状態をセルフチェックできる「こころの体温計」に町ホームページからアクセスできます。

この機会にご自身や周りの方のこころの健康について考えてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

保健福祉課 ☎：22-4035

こころの
体温計



LINE相談窓口 友だち登録



健康・福祉相談

☎ 返信時間

火・金曜日 10:00～15:00
(祝日、年末年始を除く)



こども・子育て相談

☎ 返信時間

月・金曜日 15:00～17:30
(祝日、年末年始を除く)

🕒 相談内容の入力は24時間365日可能です

『技術専門校 キャンパス見学会』を開催しています

県内の各技術専門校では、ものづくりに関心のある方や入校を検討している方を対象にしたキャンパス見学会を開催しています。

◆開催日：▶上松技術専門校 (☎0264-52-3330) … 9月18日(金)、10月3日(出)、16日(金)、26日(月)

▶長野技術専門校 (☎026-292-2341) … 令和9年2月27日(出) ※予定、3月14日(日) ※予定

▶松本技術専門校 (☎0263-58-3158) … 9月27日(日)

▶佐久技術専門校 (☎0267-62-0549) … 随時(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)

※岡谷技術専門校、飯田技術専門校は本年度分の受付を終了しています。

◆内容：体験実習、授業見学など

※事前の申込みが必要なものがあります。

お問い合わせ先

参加を希望する学校のホームページをご覧ください、
直接学校へお問い合わせください



各校の
ホームページは
こちら

10月

保健の掲示板

※急な変更、中止の際は定時放送や
母子手帳アプリ「母子モ」でお知
らせします。

各種検診・健診スケジュール

検診名	対象者	福島	日義	開田	三岳
特定健診	40～74歳の町国民健康保険加入者	25日㊦	26日㊦ (午前)		
節目健診	令和8年度末で満40歳・50歳の方				
さわやか健診	20～39歳の方				
健康長寿健診	75歳以上の方				
前立腺がん検診	50歳以上の男性				
肝炎ウイルス検査	40歳以上でこの検査の未受検者				
骨密度検診	20～74歳の方				
大腸がん検診	35歳以上の方				
肺がん結核レントゲン検診	40歳以上の方	6日㊦ 7日㊦ 8日㊦ (午後)	13日㊦	14日㊦	8日㊦ (午前)

子育て支援センターでのひら
《広場開催時間 10:00～11:00》
※詳細は母子モでご確認ください

	期 日	内 容
ベビーの広場	14日㊦	ふれあい遊び・子育て談話
でのひらぱーく	8日㊦	ふれあい遊び
	15日㊦	辺見先生のふれあい遊び
	23日㊦	来入児入園わくわく試食会
	27日㊦	来入児入園わくわく試食会
	29日㊦	乳幼児救急法講習

【お問い合わせ先】

子育て支援センターでのひら（木曽こども園併設）
☎22-3301

あそびのひろば〈親子で自由に遊べる場〉

場 所 木曽町福島5764番地5 保健センター1階
対 象 者 0歳から5歳児（未就学児）までのお子さんと保護者
利用日時 月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く）
9:00～12:00／13:00～15:30
*食事スペース 9:00～15:30

【お問い合わせ先】 ☎22-2232

介護保険制度、認知症、介護予防、成年後見制度など高齢者に関するご相談は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター（保健福祉課内）
受付時間 平日9:00～17:00 ☎22-4038

乳幼児健診

健 診	期 日	会 場
離乳食教室	7 日🌸	本庁はぐくみひろば
親子で歯っぴー教室	19日🌸	木曽福島保健センター
3ヶ月児教室	22日🌸	本庁はぐくみひろば
4ヶ月児健診	28日🌸	上松町 健康増進センター
10ヶ月児健診		
1歳6ヶ月児健診		
3歳児健診		
【お問い合わせ先】 保健福祉課 ☎22-4035		

※会場が変更になる場合があります。
詳細は、個別通知をご覧ください。

いきいき運動教室

65歳以上の方を対象に、筋力アップ、ストレッチ体操等を行います。人生100年時代を生き抜くには、健康な身体づくりが大切です。ご近所お誘い合わせてご参加ください。

【参加費】

200円／300円（通うのに支援が必要な方）

【持ち物】

タオル・飲み物
上履き（開田高原末川研修センター・総合トレーニングセンター）

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター ☎22-4038

期 日	会 場	時 間
5日㊦	木曽町文化交流センター	13:30 から 約1時間
13日㊦	総合トレーニングセンター	
19日㊦	開田高原末川研修センター	
26日㊦	三岳交流促進センター	



木曽みたけ診療所・木曽ひよし診療所の診療日			
診療所名	診療日	診療時間	休診日・その他
木曽みたけ診療所	毎週 月・火・水曜日	9:00～12:00 13:30～16:30	●休診日：5日(月) ●緊急当番医：4日(日) ●河西医師：26日(月) 14:00～16:30 ●その他：28日(水) 13:00～15:30 は休診
木曽ひよし診療所	毎週 木・金曜日		●休診日：30日(金) ●その他：8日(木)、22日(木) 13:00～15:30 は休診
【お問い合わせ先】 木曽みたけ診療所 ☎46-2266 木曽ひよし診療所 ☎26-2001			

※都合により、休診となる場合もございますので、お電話で予約のうえお越しください。また、診療日以外は留守番電話の対応となりますので、ご承知おきください。

※電子処方箋の対応も可能です。

こころとからだの健康相談室

よく眠れない、なんとなくからだの調子が悪いなど、些細なことでもご相談ください。
ご家族についての相談も受け付けています。
秘密は固く守られます。

- 日 時：10月29日(木) 9:30～11:00
- 場 所：役場本庁 相談室
- 対 象：木曽町にお住まいの方
- 申込締切：10月28日(水)まで ※完全予約制

【お問い合わせ先】
保健福祉課 保健係 ☎22-4035

緊急当番医連絡先

4日(日)	みたけ診療所（三岳）	☎46-2266
11日(日)	奥原医院（木祖村）	☎36-2264
12日(月)	原内科医院（福島）	☎22-2678
18日(日)	王滝村診療所（王滝村）	☎48-2731
25日(日)	芦沢医院（上松町）	☎52-2018

緊急当番歯科医連絡先

11日(日)	塚本歯科医院（上松町）	☎52-4577
25日(日)	ゆうあい歯科医院（日義）	☎26-2442



10月の主なイベント

木曽町中学校文化祭「青瞬祭」を開催します

統合後初めての文化祭「青瞬祭」が開催されます。保護者の方だけでなく、地域の方もぜひお誘い合わせてご来場ください。

◆日 時：10月2日(金)～3日(土)

◆内 容：クラス展示、学年発表、体育祭、ダンス発表、音楽会など

1日目《10月2日(金)》		2日目《10月3日(土)》	
開 祭 式	8:45～9:05	体育科発表（ダンス）	8:50～10:00
2 学年発表	9:10～9:40	展示見学	10:20～10:50
1 学年発表	9:45～10:15	音 楽 会	11:00～12:30
3 学年発表	10:20～10:50	閉 祭 式	13:30～14:00
生徒会企画	11:00～12:00		
体 育 祭	13:00～15:20		

◆そ の 他：お車は旧テニスコート内、または中学校校庭にお停めください。

【お問い合わせ先】 木曽町中学校 ☎22-2096



マイナンバーカードに関するお手続きのご案内

マイナンバーカードの受け取りは、事前の連絡をお願いします。また、休日は予約制となります。受け取り以外の手続きは支所でも行えますのでご利用ください。

■ 受付窓口

受け取りの方…本庁町民課 申請・更新の方…本庁町民課、各支所 ※必ず事前にご連絡ください。

■ マイナンバー窓口開設日

場 所	日にち（10月）		時 間	備 考
本 庁	平 日	月曜～金曜（祝日を除く）	9：00～16：00	
	休 日	10日（土）・25日（日）	9：00～12：00	※予約の状況により、開設時間を短縮します
支 所	平 日	月曜～金曜（祝日を除く）	9：00～15：00	※申請・更新のみ

■ 持ち物

内 容	必要な書類	備 考
受け取り	・役場からの通知 ・本人確認書類 ・通知カード など	※予約時にお問い合わせください
更 新	・マイナンバーカード	※暗証番号の入力が必要になりますのでご確認ください
申 請 （新規・再交付）	・申請書 ・本人確認書類	※お手元に申請書が見当たらない場合は、事前にご相談ください

■ その他

予約時間どおりにご案内できない場合があります。時間に余裕を持ってお来庁ください。

お問い合わせ先 町民課 ☎ 22-4281 日義支所 ☎ 26-2301
開田支所 ☎ 42-3331 三岳支所 ☎ 46-2001



信州子ども食堂 IN きそまち

【9月】9月19日（土） 11：30～ 木曽町文化交流センター 2階大会議室

【10月】10月17日（土） 11：30～ 木曽町文化交流センター 2階大会議室

◆参加費：〈子ども（高校生まで）〉無 料 〈大人〉200円



家庭で消費しきれない食材を持ち寄り、必要な方が持ち帰る取り組み「フードシェア」を行います。提供いただける方は、お家で消費しきれない食材（消費期限が1か月以上あるもの）をお持ちください。持ち帰られる方は袋をご持参ください。

お問い合わせ先 信州子ども食堂 IN きそまち 担当：甲斐 ☎ 090-4461-4826

相談情報

各種相談 ※法律相談には予約が必要です。

- 期 日：10月21日（水）
- 時 間：13：00～16：00
- 会 場：木曽町文化交流センター
- 相談内容：・法律相談 ・心配ごと相談
・行政相談 ・人権相談

【予約・お問い合わせ先】

木曽町社会福祉協議会 ☎ 26-1116

年金相談 ※相談には予約が必要です。

- 期 日：10月8日（木）
- 時 間：10：00～12：00
13：00～15：00
- 会 場：木曽町役場 会議棟

【お問い合わせ先】

松本年金事務所 お客様相談室 ☎ 0263-25-8100
自動音声案内「1」の次に「2」を選択してください。



きそまち生涯学習だより



生涯学習情報は
インターネットでも
ご覧いただけます

10・11月の主なイベント

日付	時間	内容	場所
10月	4日(日)	木曽町の文化祭【発表の部】 ピックアップ!	文化交流センター 多目的ホール
	18日(日)	木曽町駅伝大会 ピックアップ!	木曽福島市街地
	25日(日)	木曽町の文化祭【展示の部】 ピックアップ!	文化交流センター 全館
	11月1日(日)		
11月	8日(日)	午後 第4回木曽学講座 「ヴァイオリン木曽号コンサート」	文化交流センター 多目的ホール
	13日(金)	13:30~15:30 第5回木曽学講座 「中山道 須原宿を『唄う』『躍る』~須原ばねそと木曽踊り~」	未 定
	25日(水)	13:30~ 公民館シニア講座 ※保健福祉課共催 「軽体操&サロン いきいき運動教室」 ¥ 参加費: 500円	三岳 交流促進センター
	29日(日)	9:00~ 木曽町民武道大会	木曽町中学校武道場 木曽町相撲場 日義弓道場

ピックアップ!

令和8年度 木曽町の文化祭

木曽町内の公民館では、地域文化の高揚を図ることを目的として文化祭を開催します。ぜひ足を運んでいただき、心のこもった発表や作品をご鑑賞ください。

日 時 【発表の部】 10月4日(日) 12:00~

【展示の部】 10月25日(日) 13:00~11月1日(日) 13:00

※10月26日(月)~31日(土) 9:00~17:00

場 所 木曽町文化交流センター 多目的ホール

内 容 公民館サークルのほか、町内の団体・個人の発表や作品展示など



第13回 木曽町駅伝大会を開催します!

今年も木曽町駅伝大会を開催します。チームでたすきをつなぎ、力を合わせてゴールを目指します。沿道からの温かいご声援が選手の力になります。皆さまの応援をお待ちしています!

日 時 10月18日(日) 開会式/9:00~

スタート/10:00~

場 所 木曽福島地区内

(開会式・スタート 福島小学校校庭 (予定))



【お問い合わせ先】 生涯学習課 ☎23-2070

農業インターンシップを開催しています

令和6年から、木曽町では1泊2日で新規就農や移住促進を目的とした農業インターンシップを開催しています。今年は計4回の開催を予定しており、白菜やとうもろこしの収穫、そば・赤かぶの種まきなどの農作業に加え、そば打ちやすんぎづくりを体験していただく予定です。

8月1日・2日には第1回目の体験が開田高原で行われ、県内外から3名の方が参加しました。未経験の方が多く、開田高原のブランド野菜である「御嶽はくさい」の収穫体験では、その大きさに驚きながらも丁寧に作業される姿が印象的でした。この体験を通じて、木曽町の農業などについてより関心をもっていただくことができました。



東海小学生陸上競技大会へ出場しました

8月22日に開催された「第12回 東海小学生陸上競技大会」へ出場する奥村修吉^{おくむらしゅうきち}さんが、8月12日に加藤町長と越教育長へ表敬訪問を行いました。奥村さんは「日清カップ 長野県小学生陸上競技交流大会」男子5年100mで4位入賞を果たし、今回の出場が決定しました。

奥村さんは「大会には速い人がいっぱいいるので、しっかり練習して自己ベストを出したい」という意気込みを語り、その宣言通り、東海大会ではさらなる自己ベストを更新し2位に入賞しました。



(中央) 奥村さん

木曽福島の2つの神社について学びました

8月20日、木曽福島地域協議会 学び・体験部会の主催による、木曽福島にある水無神社と白山神社を学ぶ「もっと知りたい2つの神社！」が開催されました。両神社には時代ごとの絵馬がたくさんあり、参加者は絵馬に込められた願いや奉納者について専門家の解説を聞いて、神社の歴史や当時の人々の生活に思いを馳せました。水無神社では長野県宝指定の太刀を特別に拝観し、名刀の持つ威厳と優美な姿



水無神社拝殿の絵馬



白山神社拝殿の絵馬

に魅了され、白山神社では木曽大工の名棟梁^{さいとうねきち} 齊藤常吉による緻密で素晴らしい木彫刻に感嘆の声を漏らしました。

知っているようで知らない、地元の宝に理解を深めることができました。



町長コラム 如是我聞



「フリーレンの帰り道」

作家 村上春樹は、『プールサイド』という短編で、35歳を人生の折り返し地点になぞらえています。人生の行く道と帰り道、その境目となる年齢として35歳を捉えたのだと思います。

その言によれば、私は帰り道を歩いて久しいことになります。そして、帰り道も悪くないと思うようになりました。来たときには気づかなかった風景に目を向け、道草を楽しむこともできます。行き道では前だけを見て歩いていました。帰り道になってようやく、道端の花や、一緒に歩いた人の足跡に目が向くようになりました。

最近、人生の帰り道を描いた、心に染みる作品を読みました。『葬送のフリーレン』という漫画です。

主人公であるフリーレンは、勇者・僧侶・戦士たちと共に魔王を討伐した魔法使いです。1,000歳以上の寿命が普通というフリーレンの種族※にとって、冒険の旅は一瞬の出来事であり、仲間たちは次々に寿命を迎え、やがて亡くなっていきます。

彼女にとって人との付き合いは「時間の尺度」の違いを前提としたものだったはずですが、それでも、実際に失ったときの衝撃は、彼女を新たな旅へと導きます。その旅は、かつて勇者たちと歩い

た道を、ひとりでなぞる旅でした。この物語は冒険ではなく、その後に続く帰り道の話です。フリーレンは旅を通して、亡くなった仲間を「安置する場所」を、心の中に少しずつつくっていきます。

考えてみれば、私たちもまた、フリーレンと同じような運命を生きています。人と出会い、一緒に旅を続け、やがて別れていく。生きるとは、そういうことなのかもしれません。

共に魔王を倒した仲間の1人、戦士アイゼンはこう言います。
「人生ってのは、衰えてからのほうが案外長いもんさ」

私が「プールサイド」を読んだのは、30歳前だったと思います。私より少し年上の作者村上春樹も、読者の私も、いつの間にか年を重ね、振り返れば、人生の折り返し地点は遠くかすんで見えるほどです。

この夏、村上春樹の新刊『夏帆 - The Tale of KAHOKO -』を読みました。

帰り道には、帰り道にしか味わえない景色があります。

※物語の設定でフリーレンの種族「エルフ族」は大変長生きで、1,000歳以上生きるとされています。

開田キャンパス活動日記 vol.2



旧開田中学校を活用して行われたイベントなどの模様を紹介していきます

8月、夏休み中の木曾町中学校の生徒が幹線バスに乗り、見慣れない開田の景色や木曾馬の姿を楽しみながら開田キャンパスを訪れました。午前中は女子バレーボールクラブの活動、午後は夏休みの課題を持ち寄って勉強する寺子屋を行い、寺子屋の際には図書室や教室、中には校長室など、自分の好きな場所で1人で黙々と集中して取り組む、または友だちと一緒に勉強する姿がありました。

参加した生徒からは「いつもと違う涼しい環境で集中して取り組むことができた」という声が多く聞かれました。また開田出身の生徒からは、「去年まで自分が練習していたところでバレーボールができて楽しかった」という声もありました。





木曽町健康づくり計画 中間評価③

(今月の担当 | 三村田 保健師) (保健福祉課 電話 22-4035)

7月号に引き続き【第3次木曽町健康づくり計画】の中間評価(令和7年度実施)の結果をお知らせします。詳しい内容については、木曽町ホームページをご覧ください。

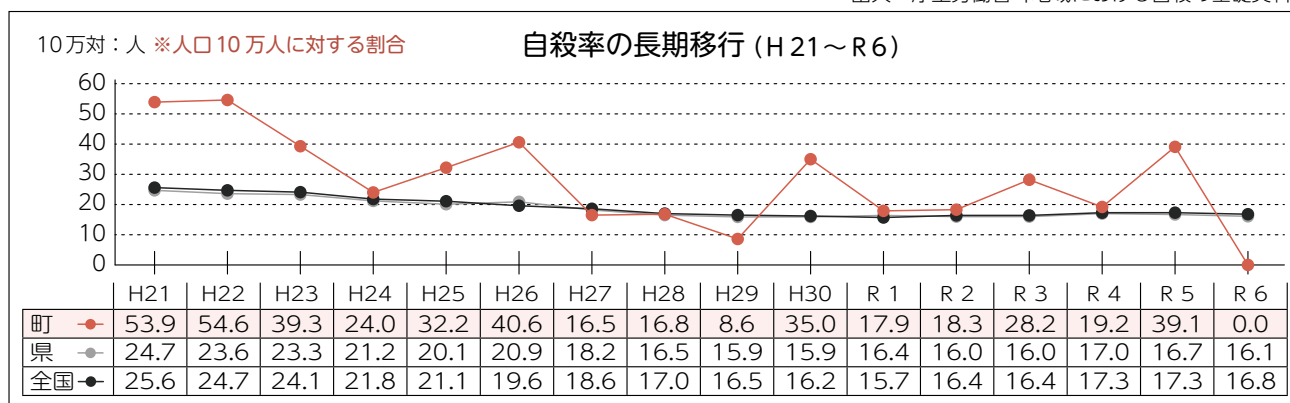


ホームページ
はこちら

自殺対策の取り組み 中間評価

木曽町の自殺率は年により増減はありますが、長期的な経過は減少傾向にあり、相談機会の拡充などの効果が出ていると考えられます。

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



木曽町の4つの重点施策

地域で気づき支え合うまちづくり

役場職員向けのゲートキーパー研修*を実施し、役場庁内ネットワーク会議で自殺対策の現状を共有することで、住民の皆様との関わりの多い役場職員から自殺対策を支える体制づくりをすすめています。自分の周りにはいるかもしれない自殺を考えている人の存在に気づき、寄り添い、必要に応じて専門機関につなぎ、見守っていくという一人ひとりの意識を広げられるように今後も取り組んでいきます。

※ゲートキーパー：身近な人の悩みに気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなぎ、見守る人のこと

若年層への対策

若年層へ向けた対策として、児童・生徒が必要な時に相談につながるよう、スクールカウンセリングの充実をすすめてきました。また、学校・こども園でのCAPワークショップ*、町保健師による中学生向けのSOSの出し方教育の実施などにより、子どもたちが自身を大切に思い、SOSの発信ができる環境づくりに取り組んでいます。

※CAPワークショップ：子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムのこと

働き盛り世代への対策

働き盛り世代へ向けた対策として、「こころとからだの健康相談室」の実施、LINE相談窓口の開設を行いました。しかし、実際の相談には結びつきにくい傾向にあります。より広い周知の工夫や福祉分野の担当者との連携をしていくことが今後必要です。

高齢者への対策

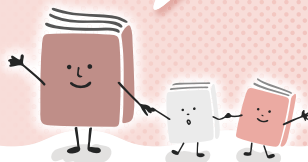
高齢者への対策として、認知症カフェや高齢者サロンの継続、介護予防事業を実施し、高齢者の社会参加の強化に取り組んでいます。社会とのつながりが少ない高齢者も増加しているため、居場所づくりとともに訪問等の個別対応も継続して実施していきます。

* 次回は健康づくりの取組評価についてお伝えします

きそまち 図書館だより

Vol.
123

木曽町図書館
感謝イベントを開催します！



最新情報は
木曽町図書館
ホームページから

「おもしろ絵本展」を開催します

仕掛け絵本など、めずらしい絵本を展示します。

期 日 9月30日(水)～10月14日(水)

場 所 木曽町図書館フリースペース



雑誌配布会のお知らせ

保存期間の過ぎた雑誌を無料で配布します。

日 時 10月10日(土) 10:30～16:00

10月11日(日) 10:30～15:00

(雑誌がなくなり次第終了します)

※10:00より整理券を配布します。

場 所 文化交流センター2階 多目的ホール

持ち物

雑誌を入れるマイバッグと図書館カードを忘れずにご持参ください。

持ち帰ることのできる雑誌は、1日につき5冊までとします。



昨年の様子

図書館感謝祭！

期 日 10月10日(土) **場 所** 文化交流センター2階 大会議室

▶10:00～12:00 「クリスマスカードをつくろう！」

▶13:30～15:30 「いろいろなボードゲームであそぼう！」

どちらのイベントも出入り自由、参加費無料、予約不要です。
ぜひご来館ください。



新企画 「大人のための朗読・おはなし会」

絵本専門士とボランティア「おはなしやさん」による大人向けの企画です。予約不要です。

日 時 10月16日(金) 10:30～11:00

場 所 木曽町図書館内



10月のおはなし会

10月3日(土)

10:30～10:45

ボランティア「4ピース+」さんによるおはなし会を行います。

10月17日(土)

11:00～11:15

「ハロウィン」というテーマでまちとしょスタッフによるおはなし会を行います。

図書館へのお問い合わせ

木曽町図書館

〒397-0001

木曽町福島5129 (文化交流センター内)

TEL 23-2030 FAX 24-0082

開館カレンダー

▶開館時間 / 平日 10:00～18:00

土日・祝日 10:00～17:00

▶休館日 / ・毎週火曜日 (祝日の場合は開館)

・祝日の翌日 (平日) ・毎月最終木曜日

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※□：休館日です

○10月は第3木曜日が休館となりますのでご注意ください。

●9月21日(月)、9月22日(火)、9月23日(水)、10月12日(月)は、祝日開館します

8月27日の前夜祭で幕を開けた「第52回木曽音楽祭」は、今年も多くのお客様が訪れました。

1975年から始まった木曽音楽祭の特色として、普段は演奏しない曲目が多いプログラムになっています。

一流の演奏家が1週間滞在し、昼夜を問わず練習を重ね本番を迎えることとなりますが、その原動力は食事ボランティアの方々が思いを込めて作る、手作りの夕食です。今回も地元食材をふんだんに使った夕食を満喫していました。

前夜祭コンサートの会場は、木曽町中学校の体育館。木曽音楽祭実行委員会を中心に設営された、一夜限りのステージで行われます。前夜祭ならではの雰囲気の中、クラシック演奏をお楽しみいただきました。

28日からのフェスティバル・コンサートは、木曽文化公園文化ホールに舞台を移して行われました。安定しない天候ではありましたが、全国各地から訪れた大勢のお客様は、木曽の大自然の中で開催される音楽祭を堪能されていました。

この音楽祭を通じて、木曽町を多くの方にPRすることができたかと思っています。

ご来場いただいた皆さま、食事や運営にご協力いただいたボランティアスタッフの皆さま、町民の皆さま、多くの方々に支えられ、無事に第52回を終えることができました。心から感謝申し上げます。

来場者数

前夜祭	248人
フェスティバル・コンサートⅠ	459人
フェスティバル・コンサートⅡ	555人
フェスティバル・コンサートⅢ	601人

延べ人数 1,863人





姉妹都市と児童・生徒交流を行いました



今年の夏も、木曽町内の小中学生が、親善友好都市である「静岡県 湖西市」、「北海道 福島町」と児童・生徒交流を行いました。小中学生がたくさんの学びと楽しさ、そして交流の機会を得ることができましたこと、今回の交流事業に関係してくださった全ての皆さまに、厚く御礼申し上げます。

7月1日～7月2日 静岡県 湖西市 新居町

湖西市とは、それぞれ旧新居町と旧木曽福島町の時代から、「関所の縁」で友好提携を行っています。今年も町内4小学校と王滝小学校の5年生が参加し、計54名で湖西市を訪問。町内・王滝小学校・新居小学校の友だちと交流を深めることができました。

初日は三菱自動車の岡崎工場や名古屋港水族館を見学し、夜には新居小学校の校庭で手筒花火の打ち上げ体験をして、その迫力に圧倒されました。次の日には、4名のガイドの方に新居関所について教えていただいたあと、新居小学校の5年生の皆さんと交流し一緒にシラスの釜揚げを体験しました。釜揚げしたシラスはカレーにかけて食べ、釜揚げされたばかりの香りを楽しみました。

2月には新居小学校の皆さんがスキー交流に来町する予定ですが、「今度は一緒にスキーしようね。」「また会おうね。待ってるよ。」など、次回を楽しみにする会話が交わされていました。



大迫力の手筒花火体験



新居関所について勉強中



おいしい釜揚げシラスが完成

7月31日～8月3日 北海道 福島町

北海道福島町との生徒交流は夏に隔年で相互に訪問を行っており、今年は木曽町中学校の生徒8名が参加しました。

飛行機ではなく北海道新幹線を利用し、世界最長の海底トンネルである青函トンネル^{せいこう}を通るなどの貴重な経験をしながら福島町に到着。現地では、福島町の生徒の皆さんと鹿角アクセサリー作りや様々な施設・景色の見学、食事を共にする中で、少しずつ打ち解け、交流を深めていく姿が見られました。また、8月3日には函館市^{はこだて}に赴き「函館港まつり」に参加。函館市で46年の歴史を持つソウルダンス「いか踊り」を、1万人ほどの参加者と一緒に踊りました。北海道ならではの文化に触れる貴重な体験でした。

福島町の生徒の皆さんと過ごした時間がたくさんの思い出となりました。



仲良くご飯タイム



函館山から見る綺麗な青空と広い海



最後は笑顔で集合写真

木曾のお盆の風物詩

木曾義仲 火牛太鼓の皆さんによる
演奏もありました

小松町民記者 撮影 ▶▶

8月13日 木曾踊り



今月の表紙

8月14日 木曾義仲旗挙げまつり

「らっぽしょ〜、らっぽしょ〜」と歌いながら歩く、らっぽしょ武者行列。日義宮ノ越の德音寺地区で受け継がれているお盆の年中行事で、町の無形民俗文化財にも指定されています。

山吹山の頂で「木」の字に火を焚き、手に松明を掲げて行列を組み、德音寺境内の木曾義仲公の墓へお参りする伝統が昔から受け継がれています。



他にも様々な出店や
ステージ発表で会場は
大盛り上がり!



木曾町民記者連載コーナー

町民記者通信

「古道具・古着・ガラクタを商う」 小松町民記者

木曾では珍しい古道具と古着・ガラクタなどを扱う「ぷーかぶか」。8年前に愛知から移住した店主の古田富美さん。コロナが自分を見つめなおすきっかけとなり、今の仕事を始めたと言います。「ホコリを被って眠っていたものを自由に再利用してほしい」「居心地のよい店にしたい」と、接客や装飾にもこだわっています。お客さんも多様で、外国人は着物、塗り物、焼き物など日本的なもの、地元の方は古着や農具など。高校生も古着に関心を持っているとのこと。

「何よりも人との出会いが楽しい」と言い、「店でピアノやギターを使ってライブもOK、学生が製作したものを販売する場を提供したい」と今後の抱負を語ってくれました。



店内の様子 (本人提供)

木曾町の総人口 9,386人 (8月1日現在) 世帯数 4,629世帯 男性 4,561人 女性 4,825人

木曾町インフォメーション 木曾町役場 本庁 22-3000 日義支所 26-2301 開田支所 42-3331 三岳支所 46-2001